



# JICA 筑波 絆で結ぶ国際協力 —世界と TSUKUBA—



## 茨城県内自治体の経験や教訓を世界へ ～洪水ハザードマップ作成～

茨城県内市街地を街歩き(タウンウォッチング)、洪水ハザードマップを作成

土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)の協力のもと実施している「統合洪水解析システム(IFAS)を活用した洪水対応能力向上」研修では、毎年、茨城県内の自治体で洪水ハザードマップ作成のためのタウンウォッチングを実施しています。

アジアやアフリカなどの途上国で気象予測や河川管理、住民避難などの防災行政に携わっている研修員たちが、白地図を片手に市内を街歩きしながら、避難所までの経路や危険箇所、



浸水区域などを確認し、ハザードマップを完成させていきます。

ハザードマップの整備は、洪水に脆弱な地域を特定したり、住民の避難計画を策定したりする上でとても効果的です。研修員たちが各市で学んだこれらの洪水対策のノウハウが、帰国後に途上国で活用されています。(2015年度は常総市、2016年度は土浦市、2017年度は7月に下妻市で実施いたしました。)

### 統合洪水解析システム(IFAS)で洪水の氾濫シミュレーション

研修では、市内でのタウンウォッチング演習に加え、統合洪水解析システム(IFAS)を用いた洪水の氾濫シミュレーション演習も行っています。IFASとは、水文データが乏しい発展途上国の河川流域でも利用できるように、地上の雨量データに加え人工衛星が観測した雨量情報を利用して流出解析をする、ICHARMが開発した解析モデルです。研修員たちは自国から自分が管理している河川流域の降雨量や地形などのデータを持参し、日本での演習で実際にこれらのデータをIFASへ取り込んで洪水解析を行います。

洪水被害の軽減には、迅速な洪水予測から効果的な水防・避難活動までの一連の対応能力強化が不可欠です。この研修では、気象観測、河川管理、避難の各分野の研修員の専門性向上と、分野間の円滑なコミュニケーションを通じた効率的協働を目指しています。

### 【研修コース情報】

研修コース名	統合洪水解析システム(IFAS)を活用した洪水対応能力向上コース
問い合わせ先	JICA 筑波 代表メールアドレス: <a href="mailto:tbictp@jica.go.jp">tbictp@jica.go.jp</a>